

3. vetOSCE(獣医学オスキー)の役割 と事業推進案

第7回獣医学教育改革委員会
北川 均 (岐阜大学)

9.15.2012 盛岡

オスキー

(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)

- 臨床実習を行うための基本的な臨床能力を確認する**実技試験**
- CBT (Computer Based Testing: 学力を問う試験)と対応する
- 国家試験(農林水産省が実施)ではない
・…各大学が主体となって実施する



オスキー

(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)

1975年英国で提唱

世界数十ヶ国で導入

日本

医・歯学: 2001年よりトライアル

2005年12月正式実施

薬学: 2010年から実施

看護学: 科研費(2008-2011)臨地実習生の質の確保のための看護系大学共用試験(CBT)の開発的研究

獣医学: 準備中



OSCE

医、歯、薬学OSCEの内容

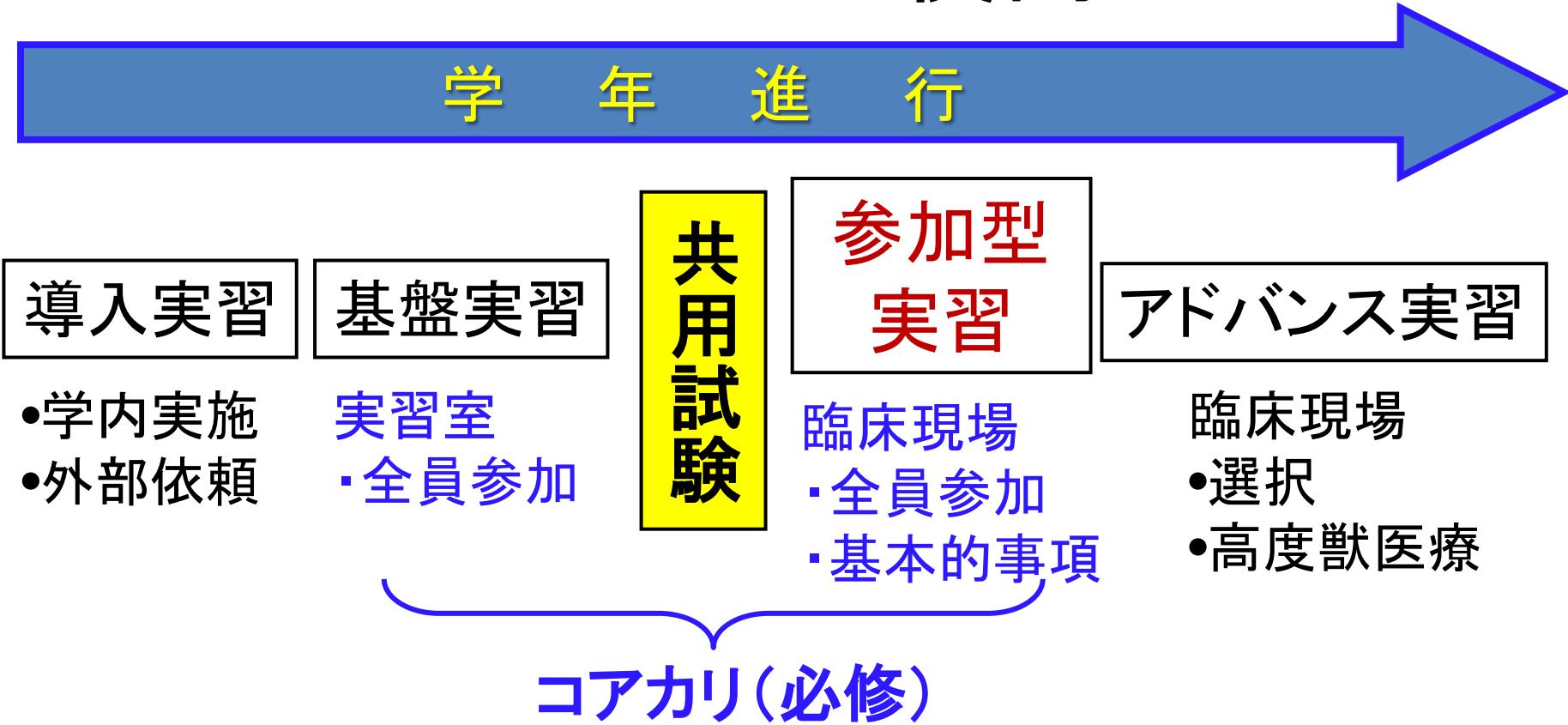
医学: 医療面接、胸部診察、呼吸音聴診、神経診察、救急、頭頸部診察、バイタルサイン等

歯学: 医療面接、口腔内診査、診断、テンポラリー・クラウン作成、バイタルサイン等

薬学: 患者・来局者接遇、各種薬剤調製、無菌操作等

基本的内容: 面接、身体検査、基本技術

vetOSCEの役割



**共用試験: 参加型実習に参加する学生の
獣医師法違反阻却要件**
→**参加型実習開始前に実施**

vetOSCE(獣医学オスキー)

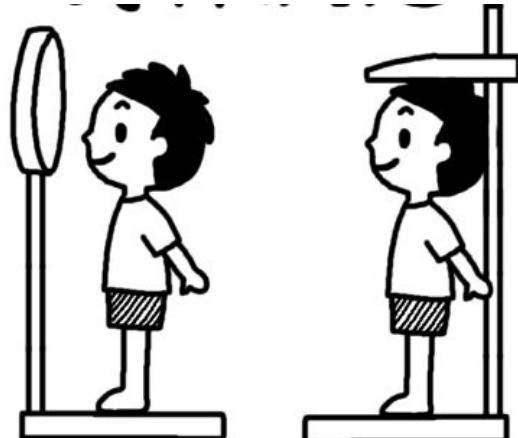
獣医の学生数・教員数を考慮する

身の丈に適合した内容

必要事項は実施

できるだけ簡便に

教員全員参加と事務方の支援



vetOSCEの内容

コミュニケーションスキル

診療の基本的事項を確認する

○インタビュー(医療面接)の基本

動物 ⇄ 飼い主 ⇄ 獣医師のコミュニケーション

態度・服装、あいさつ、自己紹介、導入質問、基本的事項(飼い主との会話)

身体検査の前まで

⇒病気の診断(各論)を要求しない

○基本的診療技術

小動物(イヌ)、産業動物(ウシ)

身体検査、保定・採血、無菌操作、縫合など

検討中
原案

vetOSCE

4-5ステーションを想定
(オプションでステーションを増やすことも可)

面接

身体検査1
犬の身体検査
保定・採血
犬シミュレーター

身体検査2
牛の身体検査
牛シミュレーター

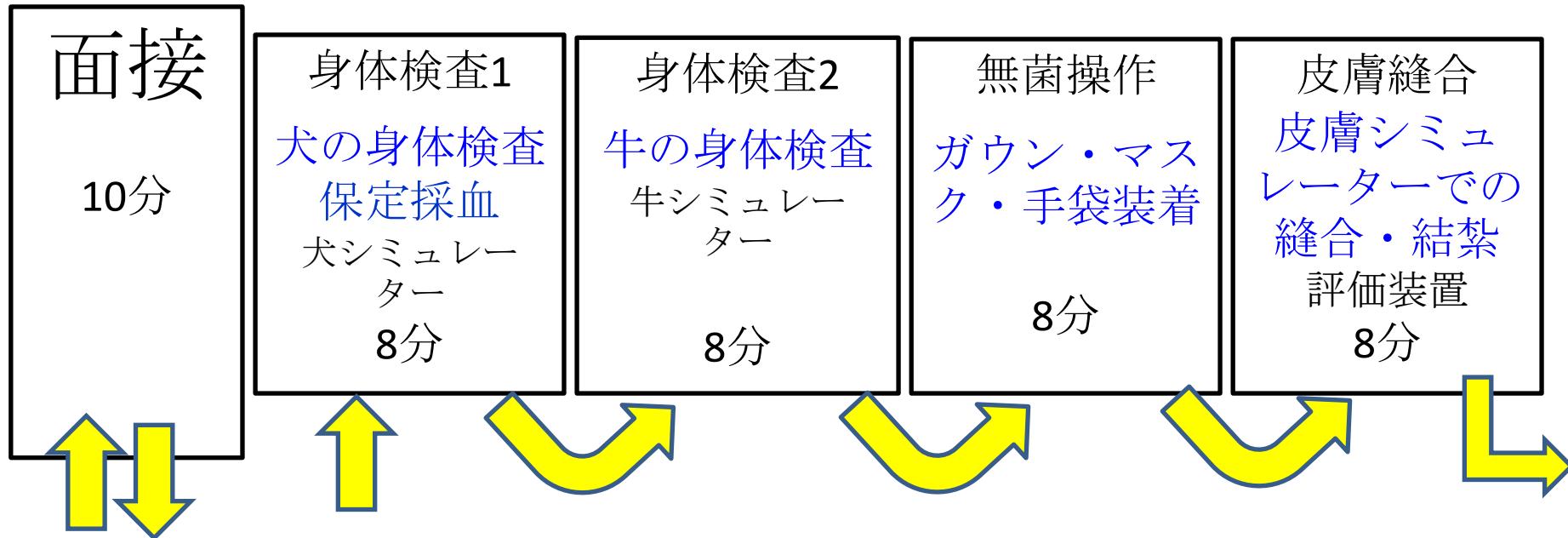
無菌操作
ガウン・マスク
・手袋装着

皮膚縫合
皮膚シミュ
レーターでの
縫合・結紮
評価装置

一つにできる?

内容は教育改革シンポジウムで

vetOSCE 所要時間



学生40名として仮計算

$$\text{面接: } 10\text{分} \times 40\text{名} = 400\text{分 (6時間40分)}$$

$$\text{実技: } 8\text{分} \times 40\text{名} + 8\text{分} \times 4\text{ステーション} = 344\text{分}$$

(5時間44分)

複数レーンでも同じ所要時間

評価

面接

身体検査1

犬の身体検査
保定採血

身体検査2

牛の身体検査

無菌操作

ガウン・マスク・手袋装着

皮膚縫合

皮膚シミュレーターでの
縫合・結紮

評価者 臨床の教員である必要はない

面接ステーション：内部1名、外部1名

他のステーション：内部各1名、

4ステーション全体で外部1名

管理者・補助者が評価者を兼ねる・・人員削減

評価

4段階

4 (A) : 良い（良くできる）

3 (B) : 合格レベル（最低要求レベルより上）

2 (C) : 合格境界領域

1 (D) : 不合格

2 (C)が3つ以上あつた

追試

準備1

各大学

OSCE実施体制の整備

- 実施担当者の選出

- =大学内OSCE実施委員会作成

- まとめ役、面接担当、実技担当

- 共用試験実施機構との協議

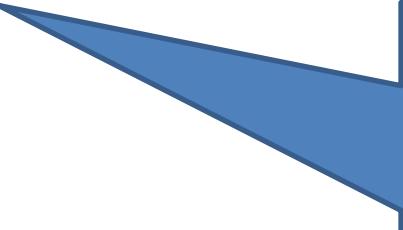
- 実施体制構築

- トライアル実施

準備2

医療面接

- 面接シナリオ作成
- 評価基準作成
- 担当者のトレーニング(意識調整)
- 模擬クライアント育成のお手伝い



準備委員会
(実施機構)

準備3

各大学

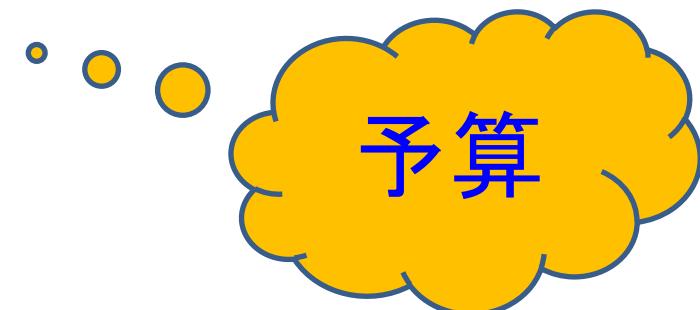
医療面接

- 医療面接担当者+大学の協力体制構築
- 学生のトレーニング(基盤実習で実施)
=コミュニケーションスキルtrainingの導入
従来の実習の中で行う
本格的なトレーニングは参加型実習で
- 模擬クライアント養成
実習に参加=OSCEもやっていただける

準備4

各大学

- 身体検査・無菌操作などに関する事前実習
内科学・外科学など基盤実習で実施
+スキルスラボ設置(可能であれば)
- 施設準備
動物病院診療室整備
パーテイション設置など
- 機材整備
シミュレーター



準備委員会 (実施機構)

準備5

シミュレーター開発

京都科学(株)と共同開発中

イヌ身体検査用シミュレーター

ウシ身体検査用シミュレーター

皮膚縫合評価装置⇒改良



材質をもう少
し柔らかく…

ヒト用シミュレーター
を展示しています
ご意見をお願いします

予算

準備6

評価者養成

各課題の評価基準作成

講習会実施

評価者認定

準備委員会
実施機構



pixta.jp - 2119335



準備中

経費(今後の検討事項) 検討中

医学の例(参考)

実施機構

評価者研修

外部評価者派遣

評価結果 集計と配布

大学

ステーション設置(+消耗品)

人件費(準備+当日)

模擬クライアント養成

OSCEに向けた実習

スケジュール

平成25 年度

後期 第1 回CBTトライアル(5 年生、数校希望者)

平成26 年度

2 月 第2 回CBTトライアル(5 年生、参加表明全校・希望者)

第1 回OSCEトライアル(5 年生、数校希望者)

平成27 年度(本格実施と同じスケジュール)

2 月 第3 回CBTトライアル(5年生、参加表明全校・希望者)

第2回OSCEトライアル(5 年生、参加表明全校希望者)

平成28 年度(本格実施)

2 月 第1回共用試験(4 年生、参加表明校・全員)

終わりに

公用試験 = 必要なこと

やるしかありません

皆様のご協力をお願いします。